

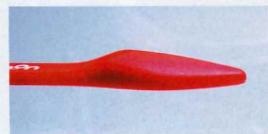


内張りはがしセット



PICKUP
ITEMS
03 TOOLS

セットには6種類の内張りはがしと専用ロールバッグが同梱。すべて収納しても2カ所余裕があるので、他のツールを入れることもできる。



グリップ形状を新たに設計。握りやすい形状としたことで作業効率アップにも貢献する。

内張りはがし
2way



内張りはがし
ハイアングル



52.5度で立ち上がったハイアングルタイプ。固くははずれず内張りに残ったクリップなどをデコの原理で簡単にはずすことができるのだ。

内張りはがし
ワイド



ワイドタイプの特徴はサイドリブの形状。先端は差し込みやすいように薄く、そのまま押し込むと内張りが浮いてくるよう設計されている。

内張りはがし Pro



エンジンルーム内のクリップなどをはずすのに便利。Pro。金属製なので硬い部分に使うのがオススメ。

ルーフクリップやオーディオ周辺のパネルを取り外すのにオススメの2way。それぞれが最適な形状になっていて作業効率アップ。

DIY派必携!!

AMON エーモン 内張りはがし

参考価格 セット 4400円前後、単品 各800円前後 (Proのみ1450円前後)
※セットに内張りはがしProは含まれません。

©エーモン ☎0790-22-6262 <https://www.amon.jp>

詳しくはコチラ!!



D・Yをするために必要なツールはいろいろ。ドライヤーやレンチなども大事だけど、実は意外と使用頻度の高いツールが内張りはがしだ。つまり、使いやすい内張りはがしは、作業効率を大幅にアップしてくれる。そこでオススメなのが、D・Y派の強い味方、エーモンから発売された内張りはがし。元々ラインアップにあったものだけど、より使いやすく作業性を追求してリニューアルされたのだ。しつかり握れて力が伝わりやすいグリップ形状としたことで、作業性をアップ。そして、ガラスファイバーを配合した樹脂により強度を向上。その結果、差し込みやすい薄型の先端形状を実現した。それぞれの先端は、様々な場所に最適化されているので、それぞれを使い分ければ作業のしやすさもグンとアップするのだ。

遊びに行く前のひと手間で
車内の汚れを抑えられる！

シートエプロン



OGC
オージーシー

©エーモン ☎0790-22-6262 <https://www.amon.jp>

シートプロテクター & ラゲッジプロテクトクロス

購入金額:6600円~

シートプロテクター
フロント(1脚分)
購入金額:7700円

汚れや水を通さないポリエステル+PVCコート生地を採用。背中部分はメッシュ生地で蒸れにくく、実際に座っても気にならない。

シートプロテクター リア
購入金額:8800円

リア用もフロント同様の生地を採用。後席は荷物を置くことも多いので、座面全体がカバーできるのは嬉しい。

ラゲッジプロテクトクロス
購入金額:6600円

丈夫なポリエステルと伸縮性のニット生地を採用。荷物全体を包み込めるので、汚れの飛散を防げる。



クーラーボックスやコンテナなどは、地面に直接置くこともあり、下まわりが汚れる。ラゲッジを守るには非常に便利だ。



専用の収納袋もあり、使わない時はコンバクトに収納できる。汎用品なので車種問わず使えるのも嬉しい。



ラゲッジ用は荷物を積み込んだ後、ベルトで荷物を包み込めるので、フロア以外の汚れも防いでくれる。

キャンプやアウトドア遊びって楽しいんだけど、ひとつデメリットがあるとすれば、車内が汚れること。テントやタープなどで使ったものも車内に入れなきゃいけないし、雨が降ったらなおさら汚れがひどくなる。これはもうどうにも避けられない。できるとすれば、可能な限り汚れを付けないことだ。OGCのシートエプロンは、まさにその役目を果たす汚れ防止ギア。シートの上やラゲッジに敷くことで、シート自体に汚れが付くことを防いでくれる。種類はフロント向けの

リア用で装着体感！
ちょっと
手間だけど
作業は簡単



シートの両角にアジャストロープを引っ掛ける。樹脂パーツとシートの間に挟んでもOK。



シートの座面と背面の隙間に、座面用エプロンのスレを防ぐシートストッパーを差し込む。



背面用、座面用、ヘッドレスト用の3つ。まず背面用はアジャストロープをシート後ろに回す。



座面、背面用プロテクターのアジャストロープを引っ張り、緩まなように固定すれば装着完了。



ヘッドレスト用はシャフトを上げ、プロテクターを巻き付けるように固定するだけでOK。



こちらも座面用と同じく、シートストッパーをシート背面と座面の隙間に押し込む。



次は背面用プロテクター。まずは座面同様にアジャストロープを、シートの後ろに回す。

単体シート用と、後席向けの3人席用。そしてラゲッジ用の3つで、すべて汎用。実際に使ってみると、全席+ラゲッジまで付けるにはちょっと手間がかかるが、シートやラゲッジフロアが汚れないというのは、何とも嬉しい。散々キャンプを満喫した次の日の朝、疲れている中で片付けのつて結構辛いんですね。そんな時に汚れを気にせず荷物をガシガシと載せられるって、かなりのメリットだなと思いましたよ！お洒落なので、常時装着し、汚れたら洗うというのもありです。